



Nagoya GRAMPUS

名古屋グランパス ワイズメンズ クラブ

NAGOYA YMCA5-2 KAMIMAEZU2 NAKAKU NAGOYA 460 JAPAN

国際会長標語 「新しいワイズダムを築こう イエスの教えのもとに」
 アジア会長標語 「一粒の種となろう」
 西日本区理事標語 「(夢を語り未来を創造しよう) -クラブビジョンを語ろう-」
 中部部長標語 「参加することを楽しみを見つけよう Enjoy Your Commitment」
 クラブ会長標語 「10周年に向けて、再度団結しよう」

2002年7月号

< 今月の聖句 >

主に従う人よ、主によって喜び歌え。主を讃美することは正しい人にふさわしい。琴を奏でて主に感謝をささげ 十弦の琴を奏でてほめ歌をうたえ。新しい歌を主に向かってうたい美しい調べと共に喜びの叫びをあげよ。

詩篇 33

例会出欠・遅刻の連絡は「ご出欠連絡書」によりお願いします

2002年7月例会ご案内

一泊例会

と き : 7月6日(土) ~ 7日(日)
 と ころ : 石橋旅館(篠島)
 知多郡南知多町篠島字弁財 31-8
 TEL 0569-67-2158

時 間 : PM 7 : 00 ~

詳細は別途ご案内します。

第二例会

と き : 7月18日(木)
 と ころ : 名古屋YMCA
 時 間 : PM 7 : 00 ~

その他

この一年取り組んだ成果と次年度の計画についてみなさんと語り合いたいと思います。10周年記念行事につきましても併せて打ち合わせしたいと思います。

6月例会	例 会 出 席 状 況				B Fポイント		クラブファンド(6月)	
	在席者	24名	第1例会	16名	当月・切手		ニコBOXノート	
例会出席者	20名	第2例会	12名	当月・現金		感謝ファンド		
当月出席率	83.33	部会他	1名	累 計		累 計	9690	

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”
 = 強い義務感を持つ。義務はすべての権利を伴う =

舌で探ったフィリピン文化



厨房でのフィリピンスタッフと坂野会長

今年度最後の第一例会となった6月11日、かわいいゲストを招いての華やかな例会となりました。「フィリピンを知ろう」のメインテーマで講師を招いての卓話、あるいは在日フィリピン人の方との交流で、頭の中では理解細胞が増えたわけですが何か物足りない。何か？。キムチ食べながら考えたのがよかったのか、「韓国はキムチ」「フィリピンは？」「だったらフィリピン料理食



ネストール氏の解説を聞きながら味わいました

べよう」ということで、あの国際こども学校のネストール氏のお取り計らいにより、フィリピンの味と文化を自分の舌で体験することができました。所は夜の繁華街「池田公園」西に位置するAsian Kitchen 八口八口。最近では名古屋在住のフィリピン人も増えたのか、この付近だけでも10軒ほどのフィリピンレストランがあるとか。在日フィリピン人ご用達のピュアな味を堪能しました。

当日食べた料理を紹介します。DINUGUAN（ブタのホルモン）、P.BIHON（炒め春雨）、CHOPSUEY（八宝菜）、L.MANOK（チキンの丸焼）、L.SHANGHAI（春巻）、CALDERTA（牛肉のトマトソース煮）、CALCAL（ピーナッツソース）、PALABOK（デコレーションヌードル、

HALOHALO（ハロハロというデザート）、CALAMANSI（ジュース）等々。



フィリピン食文化は探れたか

フィリピン料理は中華料理の影響を受けているとか。われわれ日本人にも馴染みの味が多く、やはりアジアの仲間、共通なものが多く感じられました。ピネガー（酢）の種類も多くあらゆる料理に使われているところは暑い国フィリピンの特徴です。口の中で感じた味を表現することは、特に文章で表現することは難しいものです。異国の料理については、旨い、まずい、まあまあ、という表現では表せない歴史と文化の重みがあるものです。今回も「深く味わった」と表現させていただきます。

参加メンバーの皆さんフィリピンの食文化を少しでも理解できましたか。

さて、当日は今期のお礼挨拶として鈴木氏（ボランティアセンター職員）山村氏（国際キャンペーン委員長、東海クラブ）山田舞子さんと加藤里奈さん（インターアクトクラブリーダー、高校生）の特別参加もあり、華やいだ雰囲気さをさらに高めていただきました。



ゲストの皆さんと坂野会長

今年度を締めくくる第一例会も無事完了しました。フィリピンを知る学習会は今後も継続して実施することで確認されました。次年度もためになる企画を期待します。

荒川恭次

第5回 西日本区大会



西村中部部長による聖書朗読・祈祷

入会してまもない私が参加することに決めたのは、阿部さんの不参加のこともあります。大会前日に大阪での仕事が入ったことも相俟って、永らく逢っていないジェーンズメンバーに逢える期待があったことにあります。なにしろ初めての参加ですので、ほとんど面識ない約1000名近いメンバーが集う大会の雰囲気へのまればしなかと心配していましたが、会場の入口で偶然にもジェーンズメンバーに逢うことができ、グランパスメンバーでありながら他クラブメンバーと雑談になってしまいました。(グランパスメンバーは見当たらず、連絡したところまだ昼食中で、その後坂野会長と荒川さんがやってきました。)



バナーセレモニー

薄暗い会場で、会長と座席を探してようやく座り、心地よい厳粛感のあるオープニングセレモニーを見聞きしているとようやく参加者としての実感が湧いてきましたが、いつの間にか夢の中をただよっていたようです。(荒川さんはカメラ担当でお疲れさまでした。)

夕方からのパーティでようやくグランパス参加メンバー全員と逢う事ができて一安心、これでグランパスメンバーとして参加した気持ちになりました。初めて参加して感じたことは、宴ももたけなわになるころ各クラブの紹介や表彰がありました。グランパス紹介場面でもいくつかの他クラブメンバーの活気に掛け声や意気込みが見



参加メンバー

劣りして残念に思えた場面がありました。やはり参加するからには大会の中で目立つ存在にしたいものです。参加者もメンバーの半分以上は参加することがグランパスをもちたてる意味でも必要だと思いますし、そのためには、来年の彦根での大会には他クラブに負けない活動の一つ掲げて参加出来るよう、自分がどれだけ貢献できるかチャレンジして行きたいと思っております。

山口一徳



B F 受賞盾

第5回 東日本区大会



とつかクラブとグランパスのバナーセレモニー

西日本区大会には仕事の都合で、参加できませんでしたので、東日本区大会に参加しました。沖縄シーサークラブのチャーターナイト以来

の訪問でした。那覇空港では那覇・シーサークラブの大歓迎を受け、会場に向かいました。

会場は沖縄屈指のリゾートホテル、リザンシーパークホテルです。我が家のコメットたちも大喜び。前夜祭では、とつかのメンバーを始め横浜ノースクラブや東京の皆さんと再会でき、とても懐かしく、嬉しく思いました。

東京、横浜の皆さんが私の事を覚えていてくださったのが一層嬉しく思いました。私も横浜とつかクラブのチャーターメンバーとして、この大会が思い出深いものとなりました。



この三日間を詳しく書くと、30MBほどになりますので、簡単にまとめさせていただきます。本当にすばらしい大会でした。きっと西日本区大会も感動的な大会だったと確信しております。

東日本区大会参加の収穫として、横浜とつかクラブとのDBCの話が盛り上がりました。ぜひとも今後の交流を深めながら、締結にむけて歩いていきましょう。

佐々木 忍

春の国際キャンペーン



知っていましたか？

6月2日に庄内緑地公園にてY M C Aの「春の国際キャンペーン」が行われました。

参加した子供達は、リーダー達手作りのゲームなどで楽しい時間を過ごしました。

当日、服部と同メネットがお手伝いとして参加しました。秋の募金は知っている方もいると思いますが、春もこんなイベントをやっています。次の機会には一度参加してみませんか？

服部庄三



ブリテン担当より

ワールドカップもあっという間に終わってしまい、あの時感じた興奮と感動も過去のものとなってしまいました。あまり入れ込むと後が大変だよ。と言われていましたがみなさん何か脱力感を感じていませんか。

今年度も最後のブリテンとなりました。みなさんのご協力により無事完了することができます。来年度も担当が継続するそうですのでよろしくお願ひします。